

令和 8 年 4 月 16 日  
北陸信越運輸局観光部

## 「地方部における観光と二次交通の現状に関する調査」結果を公表しました

### ～観光と二次交通の課題構造化と対応手段整理～

北陸信越運輸局は、地方部における観光と二次交通の現状および課題を整理した調査結果を取りまとめ、このたび公表しました。

本調査は、管内の DMO・自治体等へのヒアリングを通じて、地域が直面する観光と二次交通の課題を体系的に抽出・類型化するとともに、課題ごとに考えられる対応手段や先進的な取組事例を整理したものです。

このたび、調査結果がまとまりましたので、以下のとおり公表します。

北陸信越運輸局では、本調査結果を実務的な参考資料として活用し、管内 DMO・自治体の観光関係者から寄せられる二次交通に関する相談への対応を強化してまいります。

#### 【DMO・自治体の皆様へ】

観光と二次交通に関する課題や取組についてのご相談は、

「北陸信越観光地域づくり相談窓口」までお気軽にお問い合わせください。

北陸信越運輸局 観光地域振興課 TEL:025-285-9181

#### 1. 事業概要

事業名:「地方部における観光と二次交通の現状に関する調査」

事業実施者:国土交通省北陸信越運輸局

調査期間:令和8年1月下旬～3月初旬

#### 2. 調査方法

- ・管内の主要交通結節点(新幹線駅など)があるDMO・自治体等に対しヒアリング調査
- ・地域が抱える観光客と二次交通の課題を類型化し、課題別にどのような対応がとりうるかに  
ついて、先進的な取組事例と共に整理

#### 3. 調査結果

- ・調査結果概要は別紙のとおり
- ・調査報告書(全体版)は以下のページで公表中

URL: [https://wwwtb.mlit.go.jp/hokushin/00001\\_01966.html](https://wwwtb.mlit.go.jp/hokushin/00001_01966.html)

#### 【お問い合わせ先】

北陸信越運輸局観光部観光地域振興課 森田 江田

TEL: 025-285-9181

MAIL: [hrt-hrt-kankou@gxb.mlit.go.jp](mailto:hrt-hrt-kankou@gxb.mlit.go.jp)

※北陸信越運輸局観光部は観光庁の地方組織です。

**■調査名称** 地方部における観光と二次交通の現状に関する調査 **■調査実施主体** 北陸信越運輸局観光部  
**■調査期間** 令和8年1月下旬～3月初旬 **■調査対象団体数** 36（4県自治体・DMO等）  
**■調査概要**  
 ・管内の主要交通結節点（新幹線駅など）があるDMO・自治体等に対するヒアリング調査  
 ・地域が抱える観光客と二次交通の課題を類型化し、課題別にどのような対応がとりうるかについて、先進的な取組事例とともに整理

※ヒアリング回答から課題を14抽出し、それぞれに取りうる二次交通手段について以下のとおり整理した。以下はその抜粋（3課題のみ）

課題	ヒアリング時の意見	発生原因（分析）	取りうる二次交通手段	強み	弱み
① 繁忙期・イベント時だけタクシーが捕まらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>「花火の日だけタクシーが完全に足りなくなる」</li> <li>「スキー場の帰り時間が揃っていて、その2～3時間だけ行列」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・需要が“特定時間だけ極端に集中”する構造</li> <li>・車両や運転手を繁忙期だけ増やす弾力性がない</li> </ul>	日本版ライドシェア	可変供給が可能で、限られた数時間の需要集中に効果的	ドライバー確保、既存業界との調整
			臨時シャトルバス（イベント・季節限定）	大容量輸送で、行列をまとめて処理できる	運転手、車両の確保が繁忙期に困難
② 夜間・早朝に交通がない／タクシーの営業時間が短い	<ul style="list-style-type: none"> <li>「飲食店の閉店後はまったく移動手段がない」</li> <li>「朝の列車に合わせたいがタクシー会社が対応できない」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間・早朝の需要が薄く運行の採算性が低い</li> <li>・深夜に働ける運転手が確保できない（安全管理・労働条件の問題）</li> </ul>	公共ライドシェア（住民・地域主体）	夜間に柔軟、最低限の足を確保	事故時対応の明確化
			日本版ライドシェア（夜間限定運用）	副業ドライバーを夜間だけ投入できる	深夜の安全管理負担
③ 観光客が多く供給が追いつかない（人気観光地問題）	<ul style="list-style-type: none"> <li>「外国人観光客が急増し、タクシー待ちが30分以上」</li> <li>「繁華街の渋滞でタクシーが戻れず供給が追いつかない」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客の動きが“同じタイミング”に集中する構造</li> <li>・渋滞・遅延によるタクシーの回転率低下</li> </ul>	日本版ライドシェア	繁忙期だけ供給力を増やせる	ドライバー確保、既存業界との調整
			配車アプリのタクシー事業者間での共通化	予約～乗車案内をアプリで完結	スマホ操作に不慣れな層は使いづらい

→本調査結果もふまえ、引き続きDMO・自治体担当者からの二次交通に関する相談に応じて参ります。